

大人として子供たちに教えるべきこと

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

東京都の東村山市にある東村山市立第七中学校の PTA の方から呼ばれて、今週の木曜日に PTA の皆様 40 名と先生方 10 名の併せて 40 ~ 50 名の方々を前にして「学力向上のために一夏休みを前にした親の心構え」というお話をさせていただきました。皆様の参考になればと思い、今日の「開倫塾の時間」で同じようなお話をさせていただきます。

2. まず、学力とは何かということです。学力とは「自ら進んで自主的に学ぶ力」だと私は思います。今までに学んだことや新しいことを自ら進んで自主的に学ぶ力、これが学力ではないかと思えます。この力を身に着けるために一番有効な方法は、極端な言い方をすると、自分自身で長い時間学習することだと思えます。ただ、1 回に長い時間を取るのなかなか難しいですから、短い時間を全部合計して 1 日に 2 時間あるいは 3 時間になればいいのではないかと思えます。それから、学び方です。どのように学ぶのかという学び方を身に着けることも大事ではないかと思えます。

3. では、学力、つまり自ら進んで自主的に学ぶ力が身に着くとどうなるかと言いますと、これは私の考えですが、選択肢が増える、人生の選択肢が多様になると思えます。例えば、自動車やバイクの運転免許証を取るには、自動車学校に行って運転技術を身に着けるとともに、たくさん勉強して免許証を取るための試験に受からなければなりません。もし試験に受からないまま自動車やバイクを運転すると、無免許運転で刑罰の対象になります。ということで、自動車やバイクの運転免許証が取れるような学力が身に着くと、自動車やバイクを運転することができるという人生の選択の幅が広がります。

4. また、私は英語は少しわかるのですが、ロシア語やドイツ語はあまりわかりません。ですから、英語で話が通じるところに行くと少しは活動できますが、ドイツ語やハンガール語、ロシア語を使っているところで一人で生活するのは難しいと思えます。英語圏のところでは自分の人生の選択肢を広げることが少し可能かもしれませんが、違う言語のところではかなり不自由することになります。つまり、学力が身に着くと選択肢が増えます。

5. 加えて、学力が身に着くと社会が正常に機能することに非常に役に立ちます。私は新幹線や東武鉄道の電車によく乗りますが、それは JR の方々や東武鉄道の方々がとても高い能力を持って新幹線や電車を走らせてくださっているため、社会が正常に機能して交通が便利になっているからだ

思います。つまり、学力が高いと正常に機能する社会ができます。

6. 次は、学校の勉強や学校でのいろいろな活動はどこで役に立つのかという話です。これは東村山市立第七中学校の PTA の方々とも一緒に考えたのですが、中学校の勉強は高校で役に立ち、高校の勉強は大学や専門学校で、また、社会に出て仕事をするときに役に立つと思います。
7. 小学生、中学生、高校生の皆さんの中には、自分のやっている勉強はもしかしたら役に立たないのではないかと思っている方がいますよね。これはもったいない話ですので、中学校の勉強は高校で役に立つ、高校の勉強は大学・短期大学・専門学校で、そして仕事をするときに役に立つということを、よくわかっている大人の方が伝えることが大事であると思います。また、学校には掃除当番や生徒会活動、朝礼などの様々な活動、修学旅行や音楽祭、体育祭などの学校行事をはじめとする教科外の活動がいろいろありますが、これらもものすごく役に立つのです。社会に出てきちんきちんと仕事をしたり、活動したり、行動したりするときには、学校の教科の勉強で身に着けたことはもちろん役に立ちますが、教科外で身に着けたことも非常に役に立ちます。ですから、このことも PTA の皆様はじめ社会の方々が子供たちに教えてあげていただければと思います。そうすると、子供たちも一所懸命に取り組めますので、よろしくをお願いします。
8. それから、PTA の方から「家庭でやったほうがいいことは何ですか」という御質問がありましたので、私は「たくさんありますが、5S は是非行ってください」と答えました。頭文字に S のつく整理・清掃・整頓・清潔・躰を 5S と言い、それを行うことを 5S 活動と言います。整理とはいらぬ物を処分することです。そのあとをきれいにするのが清掃で、整頓とはきれいにしたあとに物を決まった場所に置いてさっと取り出せるようにすることです。自分の使っているカバンの中・机の上・机の引き出しの中・筆筒の中・本棚などから始まって家の手伝いをさせるのも大事です。このようなことを子供たちに教えてあげていただければと思います。ちなみに、栃木県では 5S 活動がとても盛んで、製造業の方、サービス業の方、そのほかの仕事をしている方も熱心に取り組んでいます。ですから、家庭でもやっていただきたいと思います。
9. 家庭でやってほしいことは、ほかにもあります。1 つは、新聞を読むことです。2 つ目は、読書です。3 つ目は 5S の躰とは別な意味での躰で、敬語表現を含む言葉遣いと美しい立ち居振る舞いを身に着けることです。4 つ目は、家事全般を少しずつ教え込んで一人で生活できるようにすることです。おそらく中学生の皆さんも、18 歳になって大学生になったり、仕事をしたりすることになったら家から離れるかもしれませんので、家にいる期間はあと 5 ～ 6 年です。あと 5 ～ 6 年しか一緒に暮らせませんので、少しずつでもよいですからご家族の方が家事全般をお子様に教えていただければ有難いなと思います。
10. 今日は、7 月 17 日(木)の 9 時 30 分から 11 時 30 分まで 2 時間かけて東京都の東村山市立第七中学校の PTA でお話をしたことを、皆様にもお聞きいただきました。是非、皆様も子供たちのために教えるべきことは教えてあげていただければ有難いなと思います。